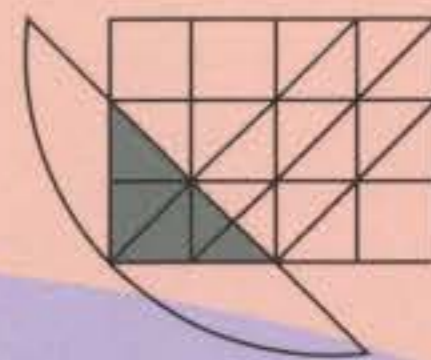


# 博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

No.15

2010.3

特別展

あ ん ら く じ ゅ い ん  
京都・安楽寿院と  
紀州・あらかわ

9月18日(土)～11月7日(日)



安楽寿院



空からみた安楽川地域

美福門院像(部分) 安楽寿院蔵

特別展

移動する仏像 -有田川町の重要文化財を中心に-

4月24日(土)～6月6日(日)



特別展

# 移動する仏像

―有田川町の重要文化財を中心に―

4月24日(土)～6月6日(日)

仏像が移動すると聞いて意外に思われるでしょうか。信仰対象として大切に守られてきた仏像のなかには、もともとの安置場所から離れ、別の寺院へと移動した事例が数多くあります。それらの仏像は、いったいいかなる理由で、どのように移動し、そしてどのように守られてきたのでしょうか。

この特別展では、安置場所が移動したり、信仰のあり方が変化した歴史をもつ仏像に注目して、有田川町歓喜寺・吉祥寺・浄教寺の仏像を中心に、多数の重要文化財を一堂に展示します。仏像の移動の実態とそこから見える歴史をテーマとする日本で初めての展覧会で、その造形美と、たどってきた歴史とが相まって醸し出される、仏像の豊かな魅力をお伝えします。



重要文化財 大日如来坐像 吉祥寺蔵

【主な展示資料】

薬師如来坐像	吉祥寺蔵
大日如来坐像	吉祥寺蔵
聖観音立像	吉祥寺蔵
不動明王及	
二童子立像	吉祥寺蔵
毘沙門天立像	吉祥寺蔵

地藏菩薩坐像	歓喜寺蔵
阿弥陀如来坐像	歓喜寺蔵
大日如来坐像	浄教寺蔵
仏涅槃図	浄教寺蔵
十一面観音立像	円満寺蔵

(以上、すべて重要文化財)



重要文化財 地藏菩薩坐像 歓喜寺蔵



重要文化財 大日如来坐像 浄教寺蔵

## 夏休みは博物館へ行こう



県立博物館では、7月24日(土)から9月9日(木)まで、子ども向けの企画展「江戸時代のくらしと活躍した人々」を開催します。

この企画展では、歴史の教科書や郷土学習で登場する人物や事柄に注目し、関連する資料をわかりやすく解説します。たとえば、左の絵の人物、誰だかわかりますか？



この絵は、華岡青洲(一七六〇～一八三五)という人を描いた絵です。青洲は、江戸時代後期に、現在の紀の川市西野山で活躍した医者です。診療をしながら、麻酔薬の研究をおこない、マンダラゲという植物から麻酔薬を作りました。麻酔の効果は、母や妻に実験して試したようです。そして、ついに一八〇四年、全身麻酔をして乳ガンを取り除く外科手術を、世界で初めて成功させました。その業績が認められて、紀伊藩の医者になり、多くの弟子を育てました。江戸時代の紀州では、こんなすくれた人が活躍していました。

特別展

# 京都・安楽寿院と

## 紀州・あらかわ

9月18日(土)～11月7日(日)

一昨年開催した特別展「木食応其」では、応其(一五三六～一六〇八)の側近として活躍した僧・覚栄(？～一六二二)の存在が明らかになり、その後京都・安楽寿院に関連資料が残されていることが確認されました。

安楽寿院は、京都市伏見区竹田にある真言宗智山派の寺院で、保延3年(一一三七)鳥羽上皇によって鳥羽離宮の東殿の一部に創建された御堂が、その始まりとされています。覚栄は、安楽寿院の塔頭の一つである遍照院の住職を勤めるとともに、天正18年(一五九〇)安楽川(紀の川市)に創建された興山寺の住職も務めています。

今回の特別展では、これまでほとんど知られていなかった覚栄という人物に焦点をあて、その業績を明らかにするとともに、活躍の舞台となった京都・安楽寿院や紀州・安楽川地域を中心とした、覚栄ゆかりの地に残された文化財を紹介します。



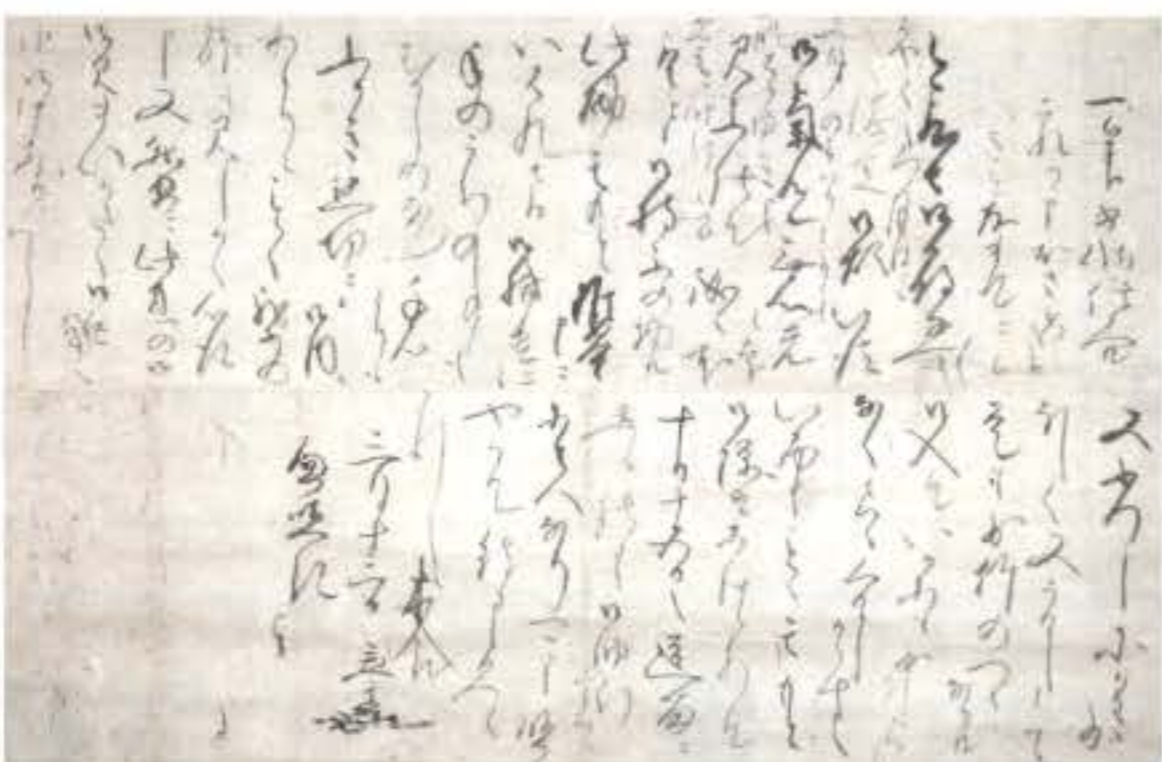
重要文化財 阿弥陀如来坐像 安楽寿院蔵  
(期間を限定して展示)



重要文化財 紺紙金字一切経(荒川経) 金剛峯寺蔵



国宝 宝簡集卷二五のうち美福門院令旨 金剛峯寺蔵



木食応其書状(覚栄あて) 安楽寿院蔵



伝美福門院像 個人蔵



八条院像 安楽寿院蔵



重要文化財 三船神社社殿

企画展	企画展	企画展	特別展	企画展	企画展	特別展	企画展	常設展
博物館のたからもの	むかしの楽器	「文化財」の基礎知識	京都安楽寿院と 紀州・あらかわ	江戸時代のくらしと 活躍した人々	長沢芦雪の動物画	移動する仏像 ー有田川町の 重要文化財を中心にー	新発見・ 新指定の文化財	きのくにの歩み ー人々の生活と文化ー
3月5日～4月17日	1月15日～2月27日	11月13日～ 平成23年1月10日	9月18日～11月7日	7月24日～9月9日	6月12日～7月19日	4月24日～6月6日	3月6日～4月18日	4月1日～9月9日 11月13日～3月31日
博物館の活動は、資料の収集・保管・調査研究・展示を軸としています。博物館では、和歌山県にかかわる「たからもの」であるさまざまな資料を、寄贈や寄託、購入などの方法で収集に努めています。博物館のコレクションから、魅力あふれる和歌山県の歴史と文化をお伝えします。	この企画展では、むかし使われていた和楽器を展示します。自分たちの楽しみだけでなく、神仏に奉納するためにも演奏されたこれらの楽器は、今ではあまりなじみがありませんが、過去の文化の中における音楽や楽器のうつりかわりを、感じ取っていただければと思います。	「文化財」っていったい何？なぜ守るの？とお思いの方、多いのではないのでしょうか。文化財とは人や地球がたどった歴史を考える上でなくてはならないものです。様々な種類に分かれていて難しい印象がある文化財の基礎知識を、実際の文化財を通してお伝えします。	京都の安楽寿院と和歌山の安楽川地域(紀の川市)、意外な組み合わせのようですが、実は共通点があります。キーパーソンは美福門院(鳥羽天皇の皇后)と戦国時代から江戸時代初めに活躍した僧・覚榮。この特別展では、関連する文化財からその共通点を読み解いていきます。	江戸時代、城下町和歌山は全国有数の都市として発達しました。また、紀伊国では、気候や風土の特性に応じた産業も発達しています。江戸時代に和歌山の人々がどんなくらしをしていたのか、またどんな人たちが活躍したのか、残された歴史資料から紹介します。	江戸時代のなかば、紀州をおとすれた長沢芦雪は、障壁画の作品を多く描きました。この企画展では、成就寺・草堂寺・高山寺に残された作品の中から、動物を描いた作品を選んで展示します。芦雪ならではの、愛らしい動物の数々をご鑑賞ください。	仏像が移動するとは、どういうことでしょうか。安置場所が移動した歴史を持つ仏像に注目して、有田川町・浄教寺・吉祥寺・浄教寺の仏像を中心に、多数の重要文化財を一堂に展示します。仏像の移動の実態とそこから見える歴史について考える日本初の展覧会です。	博物館では県内外での文化財調査を行って、和歌山の歴史を物語る資料の発見や評価に努めています。その成果の一部は県指定文化財への指定という形で反映されています。新発見・新指定された多くの文化財を公開し、和歌山の新たな魅力をお伝えします。	三万年にわたるきのくにー和歌山県の歴史を、人々の生活と文化を主軸としてわかりやすく展示しています。特別展「京都・安楽寿院と紀州・あらかわ」開催中は、常設展を行っておりませんのでご注意ください。

お知らせ

◆博物館では、主要な作品をイヤホン式ガイド機で解説する音声ガイドを提供していますので、ぜひご利用ください(一般200円、高校生以下100円)。常設展については、上級コース英語版もあります。

◆博物館のウェブサイトでは、展覧会の詳しい情報や学芸員によるコラム、博物館ニュース、刊行物のリスト、県内の文化財情報、博物館の多様な利用方法などを掲載しています。検索エンジンで「和歌山県立博物館」などと検索してください。URLは下記にも記載しています。

◆博物館では、学校行事での利用はもちろん、職場体験やミュージアムボランティア教員研修など、学校と連携した教育・普及活動にも取り組んでいます。詳しくは当館学芸課までお問い合わせください。またホームページにも案内を掲載しています。

和歌山県立近代美術館(博物館となり)の展覧会

企画展	常設展
開館40周年記念展Ⅰ ようこそ彫刻の森へ	コレクション展 2010-春
開館40周年記念展Ⅱ 日本近代版画の名品(仮称)	コレクション展 2010-夏秋
開館40周年記念展Ⅲ 洋画の魅力(仮称)	コレクション展 2010-秋冬
版画の「アナ」ーガリ版がなく孔版画の歴史(仮称)ー	

博物館の利用案内

開館時間	午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)
休館日	月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始
展示替え	展示替えにともなう臨時休館する場合があります。詳しくは博物館までお問い合わせください。
駐車場	

入館料	来館者	来館者以外
1時間まで	200円	300円
以後30分ごと	100円	100円

※大型バスをご利用の場合はお問い合わせください。

入館料

〈移動する仏像〉 (常設展示も行っています)

	一般	大学生
個人	500円	300円
団体	400円	250円

〈京都・安楽寿院と紀州・あらかわ〉 (常設展示は行っていません)

	一般	大学生
個人	800円	500円
団体	650円	400円

〈常設展・企画展〉

	一般	大学生
個人	280円	170円
団体	220円	140円

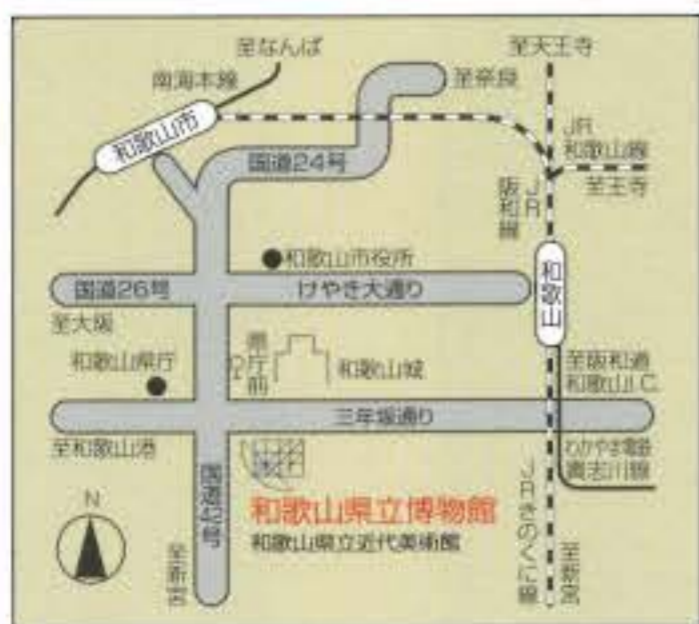
※高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生・就学生の方は無料です。  
 ※団体申し込みは、和歌山県電子申請システム (<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/wakayama/>) からでも申し込みできます。必要事項を記入のうえ、お申し込みください。  
 ※企画展の展示替え期間中は常設展示のみとなります。

和歌山県立博物館友の会

平成22年度会員募集

友の会では、バスツアー、書籍の割引販売などの事業を行っています。入会のお申し込み・お問い合わせは友の会事務局(TEL.073-436-8670)まで。

交通



JR和歌山駅または南海和歌山市駅から「県庁前」(バス停)下車、徒歩2分

和歌山県立博物館 博物館だより 第15号

発行日 平成22年(2010)3月31日  
 編集 和歌山県立博物館  
 〒640-8137 和歌山市吹上二丁目4番14号  
 TEL(073)436-8670  
<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>